



今年で創業 96 周年、大牟田の物流をリードする大牟田運送!!

J R 貨物輸送、トラック/ローリー輸送、工場内物流などの運送業をはじめ、一般倉庫や定温危険物倉庫などの倉庫業の他、近年では太陽光発電事業にも参入し SDGs (持続可能な開発目標) の視点で、省エネ輸送 (モーダルシフト) にも積極的に取り組んでいる創業 96 年の歴史を持つ大牟田運送株式会社をご紹介します。今回は、代表取締役社長の北原薫さんにお話を伺いました。



創業の経緯や変遷などを教えてください!



遠く江戸時代の飛脚による伝馬所が明治時代になると陸運元会社に衣替えし、明治 20 年代には鉄道網の整備により、馬車輸送から鉄道輸送に代わりました。大正時代に入ると鉄道輸送の活用により乱立していた小運送業者の整理・統合が行われました。その流れを受け、明治中期より大牟田で起業していた物流企業 5 社 (大運、三池倉庫、八坂、新村、有明) が、昭和 2 年に合併して大牟田駅構内にて「大牟田運送」として創業しました。その後、事業拡大に伴い、昭和 30 年代には現三井化学様の大牟田工場内に事業所を設置し工場内物流を開始しました。また、平成 15 年にフリーズセンター (冷凍倉庫)、平成 19 年に定温倉庫センターを新開町に開設し倉庫業を強化しています。さらに物流以外の新たな取り組みとして、平成 27 年に新開ソーラー発電所を開設し、太陽光発電事業にも参入しています。

現在の主な業務内容や特徴的な取り組み等は?

現在の主な業務内容は、運送業です。現在、トラック 50 台、ローリー 16 台、フォークリフト 47 台でトラック輸送や工場内物流も行っています。主な取引先は、三井化学株式会社様、日本貨物鉄道株式会社様、デンカ株式会社様、日本通運株式会社様、山九株式会社様、丸全昭和運輸株式会社様などです。また、日本貨物鉄道株式



会社様から大牟田貨物駅構内のオペレーションを任されており、有明地区の J R 貨物輸送を担っています。特徴的な取り組みといたしましては CO2 排出量の少ない鉄道を活用した省エネ輸送に積極的に取り組み、かつ車両の大型化による効率化を図るなど、SDGs を見据えた取り組みに力をいれています。

太陽光発電事業や定温危険物倉庫について詳しく教えてください!



太陽光発電事業 (新開ソーラー発電所) は、環境にやさしい自然エネルギーを有効活用するため設置し 0.9MW (メガワット) の発電量で、現在は全量売電しています。今後、蓄電システムの低価格化が進めば



自社活用を考えています。定温倉庫は定温倉庫センター (1,910 m²) に続き、令和 3 年に健老町工コタウン内に有明沿岸物流センター (敷地面積 13,400 m²、定温倉庫 1,997 m²) を開設しました。

有明地区では初の危険物の保管管理が可能な定温倉庫で第 3, 4 石油類 (引火点 100℃以上) に対応しており、市内各事業所で製造された化学製品をお預かりし、保管から出荷業務まで行っています。以前は遠方の定温倉庫に保管することもありましたが、自社定温倉庫の増設により物流が効率化できました。お預かりする製品の増加に対応して有明沿岸物流センターに増設を検討しています。



物流業界の動向と貴社の取り組みを教えてください!



単に物を運ぶのではなく、物流の安全と品質 (破損、遅延防止) 向上、省エネに対するお客様ニーズがより強くなっており、当社を選んで頂けるように、今後もニーズを的確に捉え対応できる社員教育等人材育成に力を入れています。また最近の自然災害に対する BCP (事業継続計画) 確立も必要と考えています。この他、物流業界の課題である「2024 年問題 (働き方改革関連法のドライバー時間外労働時間上限規制)」に対して、さらなる省エネ輸送の推進により長距離運転の削減に取り組んでいます。

御社のモットーと今後の事業展開などをお聞かせ下さい!

当社は、①お客様に喜んで貰える「仕事」、②仲間を思いやり大切に「仕事」、③経験を活かした考えた「仕事」の『3つの仕事の実践』を合言葉に、「Ⅰ.お客様に信頼・満足して頂ける物流・荷役作業の品質向上に努める」「Ⅱ.安全優先を徹底させ、事故・災害の撲滅及び心身の健康を確保し、生き活きと働ける職場作りに努める」「Ⅲ.環境負荷低減と環境汚染の予防へ適切に対応し、環境保全に努める」の三つを目指しています。こうしたことから、令和元年に「安全性優良事業所 (Gマーク)」、令和 4 年に「ISO9001:2015」、「事業継続力強化計画」の認定を取得し、物流業務の安全・安定・品質向上に取り組んでいます。また、社会の問題解決に繋がり、当社事業の新たな柱となる事業の発掘と挑戦として、DX や IoT を活用した①輸送品質の見える化 (輸送監視システム)、②作業の効率化と安全性向上 (偏積防止対策) ③植物工場の事業化 (健康機能性野菜) の研究開発を進めています。



今後の抱負



4 年後には 100 周年を迎え、今後も成長し続ける企業となるため、既存事業を堅実に遂行し、新たなものにチャレンジする企業風土を定着させ、お客様、社員、社会などのステークホルダーから認められ・喜ばれ・信頼される企業を目指します。

会社概要

大牟田運送株式会社
大牟田市不知火町 1 丁目番無地
TEL: 0944-53-3566